学校番号	1206

令和８年度　学教養科

教科	学 教養	科目	教養 トレーニング②	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	・基礎学力養成用問題集 ・自校作成課題（手帳等）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎朝 10 分の決められた課題とスケジュール管理を行うことで、自らの予定把握やペースを作ってもらいたい。

毎日 10 分の学習を日々行うことで、少ない時間でも継続することで得られる効果や積み重ねていくと大きな時間や量につながることを感じてもらいたい。

2　学習の到達目標

【【知識及び技能】
将来の職業生活を営む上で必要な基礎学力を理解している。
【思考力、判断力、表現力等】
スケジュール管理を行い、自身の生活を思考し表現することで自己管理能力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
日々の学習に主体的に参加し、意欲的に学習に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	職業生活を営む上で、必要な知識を身につける。	スケジュールの把握から自己管理能力が身につけている。	日々の課題に対して、しっかり取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～10月	基礎学力の養成とスケジュール管理	漢字や計算等のドリル 毎日のドリル学習(主に国語、数学) 手帳を利用したスケジュール管理	a:課題について理解し、回答できている。 b:スケジュール管理の手帳を活用し、自己管理ができる。 c:授業に積極的に参加しようとしている。	課題提出	手帳提出	授業態度
11月～3月	一般的な知識の習得とスケジュール管理	一般知識等のドリルや時事に関する新聞記事等の閲覧 手帳を利用したスケジュール管理	a:課題について理解し、回答できている。 b:スケジュール管理の手帳を活用し、自己管理ができる。 c:授業に積極的に参加しようとしている。	課題提出	手帳提出	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度